

「ぎょうれつ本舗」市街地へ 大津、障害者支援団体の移動販売

大津市内にある障害者就労支援施設の人たちが食料品や日用品を車で移動販売する「ぎょうれつ本舗」が、同市におの浜4丁目の市立障害者福祉センター前を新たな販売先に加えた。これまでは高齢者が多く、買い物がしにくい地域で販売してきたが、育児中の母親らにも利用してもらおうと初めて市街地での販売に乗り出した。

ぎょうれつ本舗は2011年9月、障害者の就労支援施設の「ドリーム・あんです」（高島市）や「瑞穂」（大津市）など県内の11団体が合同で始めた。高島市朽木や大津市比叡平など、近くに商店が少なく、徒歩で買い物に行くことが難しい地域を巡回してきた。

大津市では、同じような他の地域でも販売したが、車を使って買い物に行く人が多いためか、利用客は伸びなかったという。一方、乳幼児を育てていて外出しにくい母親たちには、近場で買い物ができる移動販売が受け入れられることに気付いた。

そこでマンションが立ち並び、近くに児童数が多い小学校がある、におの浜で販売を始めた。14日に行った初の販売会では、無農薬のキャベツやタマネギなどの野菜やクッキーが並び、市立障害者福祉センターを利用する人らが買い求めていた。

瑞穂の尾張勝久主任指導員（31）は「施設では、お子さんが安心して食べられるものを作っている。販売するだけでなく、おしゃべりをする中で、日常生活の困りごとを聞いていきたい」と話す。

販売は毎月第2、4金曜の午後2時から30分間。変更する場合もあり、問い合わせは瑞穂TEL077（525）9520。



市街地での販売を始めた「ぎょうれつ本舗」
（大津市におの浜4丁目・市立障害者福祉センター）

【2013年06月24日 11時41分】

Copyright (c) 1996-2013 The Kyoto Shimbun Co.,Ltd. All rights reserved.

各ページの記事・写真は転用を禁じます。著作権は京都新聞社ならびに一部共同通信社に帰属します
[ネットワーク上の著作権について](#) [新聞・通信社が発信する情報をご利用の皆様へ](#) (日本新聞協会)
[電子メディアおよび関連事業における個人情報の取り扱いについて](#)